

調査票B連携ニーズ調査

調査票B 平成29年度大学等との連携ニーズ調査（大学等を実施してほしい研究・調査 及び 連携して取り組みたい内容） 平成29年2月現在

No.	事業名	内容(100字程度)	連携形態区分	連携・協力による大学側のメリット	連携・協力による市側のメリット	平成29年度の 予算措置の有 無	担当所管
1	「八王子レガシープラン(東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた八王子市の取り組み方針)」の実現に向けた連携推進	平成28年7月に策定した「八王子レガシープラン」の推進にあたり、大学と連携しながら、スポーツ・文化・産業等様々な分野におけるプロジェクトを実現し、地域の活性化や課題解決につなげる。	その他	類を見ない国際的なイベントへの協力により、大学と地域が連携した実践の場づくりや、学生にとって様々な体験・学びの機会が得られる。	本市のまちづくりに、大学の持つ知見やネットワーク、学生のボランティア等を活用できる。	無	都市戦略部 都市戦略課
2	子どもの生活習慣等調査	経済状況など厳しい環境ある子どもに対する調査手法や内容の設定、調査結果の分析を連携して行う。	調査・研究	・行政区単位のデータが得られる。 ・調査対象の抽出に市の協力が得られる。	調査手法や内容の設定、調査結果の分析など、大学の調査研究の手法を取り入れて行うことができる。	無	総合経営部 経営計画第二課
3	子ども若者貧困研究センターへの職員派遣	子どもの貧困に関する多くの情報を吸収し、実態・動向調査の手法等について学ぶことができる「子ども若者貧困研究センター」に職員を派遣する。	その他	・調査等の協力先である行政側の視点について理解が深まる。 ・本市が予定している調査ではもちろんのこと、大学が日頃行っている研究等でもリサーチアシスタントとして活用できる。	職員が実際の分析作業に従事することで今後の本市の政策立案等に役立つ知識、経験を得ることができる。	無	総合経営部 経営計画第二課
4	公共施設マネジメント地域住民ワークショップ	ワークショップを通じて地域住民が「将来にわたってその地域に必要な施設」を考え、建築系学科の学生たちは、住民の声を反映させた建築模型を作成する。これを数回繰り返すことで地域にとって真に必要な施設を見つけることができる。	その他	依頼主(地域住民)の声を実際に聴きながら、イメージを具体化する経験を得られる。	建築の専門家(教授、学生)の協力を得ることで、地域で必要とする公共施設を可視化することができる。	無	行財政改革部 行政管理課
5	災害時における罹災証明書の発行会場	災害時に、被災者が各種被災者支援(被災者生活再建支援金や義捐金等)を受けるために必要となる、罹災証明書の発行場所として大学を利用する。	施設利用	被災者の生活再建のスタートとなる罹災証明書の発行会場となることで、地域貢献によるイメージアップへとつなげることができる。	罹災証明書の発行会場は、申請書の記載台や発行カウンターその他、2次申請窓口など、一定の空間が必要となる。また、申請者が多数滞留することが見込まれるため一定時間は大人数を収容できる大学の施設を活用することで、窓口の混雑解消を図ることができる。	無	税務部 税制課
6	職員参集時の情報を集約するアプリ開発	災害時の職員参集の際に、スマートフォン等のGPS機能を利用して職員の参集ルートを記録し、通行可能な道路情報を集約するアプリを開発することで、市の災害時の概況調査の一端を担う。	調査・研究	研究室及び学生が日頃行っている研究を実践することで、大学のプロモーションにつながる。	災害時には、市内の災害状況を把握する必要があるが、職員参集時の道路情報を集約することができれば、より迅速な対応が可能となる。	無	税務部 税制課

調査票B連携ニーズ調査

調査票B 平成29年度大学等との連携ニーズ調査（大学等に実施してほしい研究・調査 及び 連携して取り組みたい内容）							平成29年2月現在
No.	事業名	内容(100字程度)	連携形態区分	連携・協力による大学側のメリット	連携・協力による市側のメリット	平成29年度の 予算措置の有 無	担当所管
7	大学の新生ガイダンス等での消費生活に関する啓発活動	4月の新生ガイダンス等の場で、消費者被害で若者が被害に遭いやすい手口やその対処法、消費生活センターの紹介を行う。	その他	大学生の消費者被害防止が図れるとともに、大学と連携した消費者教育の推進が図れる。	大学生の消費者被害防止が図れるとともに、大学と連携した消費者教育の推進が図れる。	有	市民部 消費生活センター
8	消費者教育に関する副読本の作成協力	消費者教育の副読本作成で連携する中学校の教員に対して研修等を行う。(指導課と連携)	意見交換	中学校の副読本の作成協力をすることで地域連携につながる。	大学教授の専門的知見から情報を得ることで、より内容の充実した副読本の完成につながる。	無	市民部 消費生活センター
9	浴場振興について	浴場振興に係る大学生への意識調査について協力を依頼する。	調査・研究	学生の地域への関心が深まり、活動促進へのきっかけとなるとともに、浴場振興にもつながる。	学生が銭湯に関心を持つきっかけとなり、浴場振興につながる。	無	福祉部 福祉政策課
10	介護予防体操PR動画の作成	介護予防に資する体操のPR及び指導動画を連携して作成し、普及啓発の促進を図る。	市の事業の周知に大学等が協力	動画の作成技術の向上と伝える技術の向上、大学の周知につながる。	質の高い動画となり、事業の効果的な周知を図ることができる。	無	福祉部 高齢者いきいき課
11	フードバンク事業等への協力	学内に設置された売店・学生食堂の事業者(大学生協等)において発生した、いわゆる食品ロスを市内に設立された各フードバンク事業等へ寄付するよう、大学を通じて依頼するもの。	市の事業の周知に大学等が協力	大学全体から排出される食品ロスの減量につながる。	市内の各フードバンク事業等の活性化につながり、また物資(食品)の量が十分になる事により、より広く手厚く生活困窮者への支援が展開できる。	無	福祉部 生活自立支援課
12	まちなか避暑地の活用による多世代交流の機会創出	(1)地域交流スペースをまちなか避暑地として地域住民、学校等に周知を図り、多様な世代の利用拡大を図る。 (2)学生や高齢者ボランティアを活用することにより、利用者間の交流や生きがいづくり、健康福祉に関する学習の機会を創出する。	地域交流促進	(1)行政や健康福祉に関する学習の機会として利用できる。 (2)学生の地域での活動促進のきっかけとなり、多世代交流につながる。	(1)夏季省エネ対策に資する。 (2)施設の利用率向上 (3)多世代交流の促進 (4)入居団体と学生との協働	無	医療保険部 大横保健福祉センター
13	介護予防の効果的な取組について(ニーズ調査)	自治会や老人会などを単位とした地域の集まりの方に、どういった介護予防のサービスの提供があれば(あるいは、サービスの提示の仕方があれば)、利用したいと考えるかなどのニーズ調査。	調査・研究	学生さんにとっては、フィールドワークとして、御自身の研究テーマと合わせて活動が可能となること。	業務の時間の合間では調査しきれないところを、丁寧にニーズとして拾っていただき、分析してもらえることで、より効果的な事業を行うことが可能となる。	無	医療保険部 南大沢保健福祉センター
14	外部講師派遣事業	本校の教育科目について外部講師の講師の派遣を依頼する。	その他	大学に蓄積されている知識を有効活用することによりより一層の深まりや地域貢献につながる。	本校の教育カリキュラムの効果的で効率的な実施が実現できる。	有	医療保険部 看護専門学校総務課

調査票B連携ニーズ調査

調査票B 平成29年度大学等との連携ニーズ調査（大学等を実施してほしい研究・調査及び連携して取り組みたい内容） 平成29年2月現在

No.	事業名	内容(100字程度)	連携形態区分	連携・協力による大学側のメリット	連携・協力による市側のメリット	平成29年度の 予算措置の有 無	担当所管
15	災害時の動物救護活動	災害時には動物救護活動拠点として以下のように御協力願いたい。 ①貴学施設内の衛生環境の整った収容設備において逸走した飼い主不明の犬・猫の一時保護のため、貴学施設内の収容設備の提供。 ②救援物資の保管場所の提供。 ③収容動物対応のため、知識のある貴学学生による協力。	その他	動物看護学部の専門的知識が災害時に発揮されるとともに、防災連携をすることで学生に対して災害へ意識を深めることができる。	収容施設のない本市にとっては、収容場所の確保は急務である。また、耐震性や衛生的にも安全な構造となっている貴大学の収容施設を活用することで、効率的な救護活動が行える。	無	健康部 生活衛生課
16	事業所内保育施設の設置	事業所内保育施設の設置を促進し、待機児童解消を図る。	その他	従業員にとって、より働きやすい環境を整えることができる。	待機児童解消を図ることができる。	有	子ども家庭部 保育対策課
17	市内中小企業の研究・開発の場の提供	大学の空きスペースを活用し、地域の企業間等の連携による共同研究開発及び試作の場の提供をする。共同研究開発や技術力の向上を目指す企業を支援することにより、企業の技術革新及び新たな事業展開を推進する。	施設利用	産学連携や地域連携への機運につながる。	企業の技術革新及び事業展開が推進され、地域経済の活性化に繋がる。	無	産業振興部 企業支援課
18	技術力の高度化、製品の高付加価値化に向けた市内中小企業と大学との連携促進	市内中小企業の研究・開発に関して積極的に連携を図る。市内中小企業との連携の際、八王子市の産学連携による研究・開発費等の補助制度を市内中小企業へ周知する。	その他	産学連携や地域連携への機運につながる。	企業の技術革新及び事業展開が推進され、地域経済の活性化に繋がる。	有	産業振興部 企業支援課
19	第34回全国都市緑化はちおうじフェア「学生出展ガーデン(仮称)」	はちおうじフェアのメイン会場内に、学生との協働によりデザイン・コンセプト・運営方法等を決定し展開していく庭園を制作する。	その他	庭園の展開方法について、学生が他大学の学生と連携しつつ自身の得意な分野からアプローチをしていくことで、学びの場を得られると同時に、学びの成果を披露する場を得ることができる。	フェアの構想及び基本計画でも示す、学術連携を図ることができる。また、学園都市である八王子の特色を活かした会場づくりを行なうことができる。	無	都市緑化フェア推進室
20	医療刑務所壁面アートの作成	医療刑務所の北壁を市民の参加により装飾するプロジェクト。大学の協力を得ながら、デザイン・コンセプト等についてのワークショップを地域住民と行ない、デザイン画をもとに壁面アートを作成する。	地域交流促進	地域の意見を踏まえた壁面アートを作成することで、地域貢献・地域交流を実現することができる。	協力を得て魅力的な壁面アートができることで、はちおうじフェアのスポット会場に位置づけ、八王子駅南口～富士森公園の回遊ルートの中に組み込むことができる。	有	都市緑化フェア推進室
21	第34回全国都市緑化はちおうじフェアサテライト会場東エリアイベント	はちおうじフェア東エリアサテライト会場への協力	地域交流促進	地域住民が主催するイベントや活動に参加することで、地域貢献・地域交流を実現することができる。	地域と大学との協力体制の構築につながる。	有	都市緑化フェア推進室

調査票B連携ニーズ調査

調査票B 平成29年度大学等との連携ニーズ調査（大学等を実施してほしい研究・調査 及び 連携して取り組みたい内容）							平成29年2月現在
No.	事業名	内容(100字程度)	連携形態区分	連携・協力による大学側のメリット	連携・協力による市側のメリット	平成29年度の 予算措置の有 無	担当所管
22	第34回全国都市緑化はちおうじフェアサテライト会場東南エリアハロウィンイベント	はちおうじフェア東南エリアで実施するハロウィンイベント(10/9)においてフェイスペイント、ネイルアートの実施を行なう(山野美容短期大学)。また、写真撮影用の背景パネルを作製する(東京造形大学)。	地域交流促進	地域住民が主催するイベントや活動に参加することで、地域貢献・地域交流を実現することができる。	地域と大学との一層の連携強化につながる。	有	都市緑化フェア推進室
23	第34回全国都市緑化はちおうじフェアサテライト会場北エリア田んぼアートイベント	高月地区の田園を活かして田んぼアートを作成する。	地域交流促進	地域住民が主催するイベントや活動に参加することで、地域貢献・地域交流を実現することができる。	地域と大学との協力体制の構築につながる。	有	都市緑化フェア推進室
24	第34回全国都市緑化はちおうじフェアサテライト会場北エリアイベント	はちおうじフェア北エリアサテライト会場への協力	地域交流促進	地域住民が主催するイベントや活動に参加することで、地域貢献・地域交流を実現することができる。	地域と大学との協力体制の構築につながる。	有	都市緑化フェア推進室
25	空き店舗に関する研究	中心市街地内の空き店舗に関する調査分析を通して、新たな活用方法や、まちのあり方などについて意見交換を行う。	調査・研究	研究過程において、まちの生の動きを実体験できるとともに、エリアマネジメントやマーケティングの研究にも繋がる。	学生からの素直な発想により、空き店舗対策事業に新しい展開をもたらすことが考えられる。	無	拠点整備部 中心市街地政策課
26	Hachioji Free Wi-Fiの周知	28年12月からサービスを開始している八王子駅周辺に整備したHachioji Free Wi-Fiについて、大学内へのポスターとチラシの掲示の依頼、並びに市ホームページ等へのリンク設定を依頼し、周知の徹底を図る。	市の事業の周知に大学等が協力	大学生が多く利用する八王子駅南北のバスロータリー等にも整備していることから、大学生の通信環境が向上する。	Wi-Fiだけでなく、自動接続先の中心市街地のお店やイベント等を紹介するWebサイトの利用も増え、大学生に中心市街地を知ってもらうきっかけとなり、賑わいにつながる。	有	拠点整備部 中心市街地政策課
27	自転車安全ルールの普及啓発のための動画作成	大学生や大人を対象とする自転車ルール・マナーの啓発のための動画撮影を行う。	市の事業の周知に大学等が協力	学生の交通マナーの向上により、地域との連携が強まる。	学生や大人の交通ルールの普及啓発を行うことにより、市内の交通事故減少につながる。	無	道路交通部 交通事業課
28	大学生・社会人向けの効果的な交通安全教育の手法研究	大学生や大人を対象とする自転車ルール・マナーの啓発のための、効果的な交通安全教育を研究する。	市の事業の周知に大学等が協力	ゼミ・研究室などでの研究を基とした交通安全教育を行うことにより、地域の交通上の課題を検討でき、学生の通学時の自転車事故の減少も期待できる	学生や大人の交通ルールの普及啓発を行うことにより、市内の交通事故減少につながる。	無	道路交通部 交通事業課
29	客引き・スカウト行為等の防止	八王子市生活の安全・安心に関する条例により規制している、客引き・スカウト等行為の防止について、学生への周知等への協力。また、必要に応じて大学職員や学生への説明に職員を派遣する。	市の事業の周知に大学等が協力	学生による違法行為の未然防止	学生による違法行為の未然防止	無	生活安全部 防犯課

調査票B連携ニーズ調査

調査票B 平成29年度大学等との連携ニーズ調査（大学等を実施してほしい研究・調査 及び 連携して取り組みたい内容）							平成29年2月現在
No.	事業名	内容(100字程度)	連携形態区分	連携・協力による大学側のメリット	連携・協力による市側のメリット	平成29年度の 予算措置の有 無	担当所管
30	プロジェクションマッピング	市制100周年記念事業として、大学が持つ英知と広大な敷地を活用し、大規模なプロジェクションマッピングを実施する。	その他	大学のPR	会場確保及び大学が持つ知的資源を活用し、市制100周年のPR及び八王子の魅力を感じられるイベントを市民に提供できる。	有	市制100周年記念事業推進室
31	市制100周年記念式典	市制100周年記念式典での舞台演出・音響について、ノウハウを持った専門学校に依頼し、連携して事業を実施する。	その他	大学のPR及び学生が大学で学んだことを実イベントで活かす機会となる。	舞台演出や音響など、ノウハウを持った人材を活用することで、円滑な式典進行が可能となる。	有	市制100周年記念事業推進室
32	八王子車人形調査	八王子車人形の学術調査に参加してもらい、報告書を作成する。将来的には国の文化財指定の基礎調査とする。	調査・研究	調査研究を行うことで大学の研究成果となるとともに地域貢献になる。	専門的知見から本市の文化財を評価してもらうことができる。	無	生涯学習スポーツ部文化財課
33	読書感想文コンクール応募作品傾向分析	読書感想文コンクールに応募した児童・生徒の読んだ本の統計データを提供し、読書傾向を分析する。	調査・研究	子どもの読書の現状を調査・研究できる。	児童・生徒によく読まれる本を抽出し、図書館・学校図書室の蔵書選定やお勧め本の紹介など、読書環境向上の参考にできる。	無	図書館部 川口図書館
34	IFSCボルダリングワールドカップ八王子2017における通訳	IFSCボルダリングワールドカップ八王子2017に出場する選手・コーチ等に、会場周辺、市内の交通案内などの通訳	その他	日頃、勉強した語学力の発揮の場になるとともに、実践の場となる	専門職の配置が不用となる。	無	国際スポーツ大会推進室
35	スポーツに関する講演会・出前授業	オリンピック・パラリンピックに向けた連携、人材の育成	講演・フォーラム	大学の学生育成、教育学部設置大学においては、学生による児童との触れ合いの機会	八王子市出身のスポーツ選手育成	無	梶田小学校
36	理科に関する講演会・出前授業	出前授業による科学教室。サタデースクール開催時の科学教室。八王子市科学教育センター各分室活動における科学講座の実施	その他	教育学部設置大学においては、学生の育成。教材開発の場となる。	八王子市出身のエンジニア等の育成	無	梶田小学校
37	理科に関する講演会・出前授業	出前授業による科学教室。サタデースクール開催時の科学教室。八王子市科学教育センター各分室活動における科学講座の実施	その他	教育学部設置大学においては、学生の育成。教材開発の場となる。	八王子市出身のエンジニア等の育成	無	梶田小学校

調査票B連携ニーズ調査

調査票B 平成29年度大学等との連携ニーズ調査（大学等を実施してほしい研究・調査 及び 連携して取り組みたい内容）							平成29年2月現在
No.	事業名	内容(100字程度)	連携形態区分	連携・協力による大学側のメリット	連携・協力による市側のメリット	平成29年度の 予算措置の有 無	担当所管
38	理科に関する講演会・出前授業	出前授業による科学教室。サタデースクール開催時の科学教室。八王子市科学教育センター各分室活動における科学講座の実施	その他	教育学部設置大学においては、学生の育成。教材開発の場となる。	八王子市出身のエンジニア等の育成	無	梶田小学校
39	医学的知見からの心理・発達相談	児童・保護者・教員のメンタルヘルスに関わる相談 児童の発達障害に関する相談や診断	その他	・大学生の臨床実習の場の提供 ・各種研究のデータ収集場の提供	保護者の社会・心理的安定による 各種相談件数の減少に伴う市事業 費の削減、教員配置の際の安定化	無	梶田小学校
40	防災・安全教育に関する出前授業・教員研修・施設点検・学区地域との連携	防災に関する出前授業や、学校施設点検、学区地域の防災 や犯罪抑止のための施策立案	その他	実地研究の場の提供、研究実績事 例の提供	災害対策や犯罪抑止に貢献でき る。	無	梶田小学校
41	国際交流プロジェクト	小学校に、各大学の留学生に来てもらい、英語を使って、交 流をする。	地域交流促進	日本の子供たちとの心温まる交流	国際感覚豊かな児童の育成		由井第一小学校
42	八王子市立中学校教育研究協議会の 講師	次期学習指導要領案が示されました。これからの学校教育 は「主体的・対話的で深い学び」(アクティブ・ラーニング)が全 教科に導入され、さらなる指導の充実が求められています。 それゆえ各教科等の研修がますます必要です。中教研には 13の部会(国語・社会・数学・理科・英語・音楽・美術・保健体 育・技術・家庭・養護・道徳・特別支援教育)があります。教師 の指導力向上のために講義をしたり授業の講評をしたりして くれる先生を紹介してください。	その他	3～5年後に大学生になる子供の実 態が分かり、見学しに来た大学生に も良い勉強になると思います。		有	
43	オリンピック・パラリンピック教育	オリンピック・パラリンピックに出場した選手や関わっている方 を紹介していただき交流したり話をさせていただいたりしてもら いたいです。	その他	大学の社会貢献や宣伝になるし、 生徒のあこがれの大学になると思 います。		有	鎌水中学校
44	大学生の部活動や学習支援者	大学生に部活動の外部指導員や学習補助をお願いしたいで す。中学校にとって部活動は大事なものですが指導者の確 保に常に悩まされます。また、授業中の補助や放課後補習を してくれる学生がたくさんいると助かります。	その他	大学の社会貢献や宣伝になるし、 生徒のあこがれの大学になると思 います。		有	鎌水中学校

調査票B連携ニーズ調査

調査票B 平成29年度大学等との連携ニーズ調査（大学等を実施してほしい研究・調査 及び 連携して取り組みたい内容）							平成29年2月現在
No.	事業名	内容(100字程度)	連携形態区分	連携・協力による大学側のメリット	連携・協力による市側のメリット	平成29年度の 予算措置の有 無	担当所管
45	上柚木中学校	特別支援学級拠点校として2年目となる。次年度は、校内通級の生徒も2倍となり、ユニバーサルデザインの授業の必要性が求められるようになった。特別支援教育の専門的な知見をもった学生と連携した教育活動を実践したい。	地域交流促進	学生の地域での活動促進のきっかけとなり学生のインターンシップにもつながる。	校内通級の生徒の学校生活環境の向上や一人一人の教育的ニーズに応えられる教育活動の提供が効果的に行えるようになる。	無	上柚木中学校

※色がついている事業については現在進行中です。